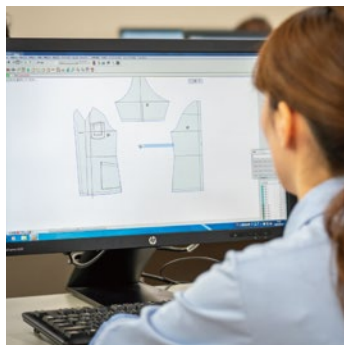


二次元から三次元にできるのが魅力。

山下 華絵

(商品開発部 主任 / パターン、縫製仕様書作成)



もっと生の声

Q & A

—— 思い出に残っていることはありますか？

デザイン性の高いナース服を作製した時です。まず型を作るのですが、凝ったデザインだったため、裁断をするのが難しかったです。体に合わせて作らなければいけないので、平面裁断だけでは難しいところは、立体裁断をしていきました。かなりの時間をかけて作成したのを覚えています。

—— こだわっていることはありますか？

常に心掛けているのは、着心地です。制服は毎日着用するアイテムで、立ったり、座ったり、かがんだり着用時の動きは様々です。例えば腕の上げ下げがしやすいカッティングをしたり着用者の動きを想定した着心地の良さには気を配っています。

—— 会社の魅力を教えてください。

明石S.U.C.には新入社員からベテランまで幅広い年齢の従業員がありますが、若手でも意見を言いやすく、自由に仕事ができるのが魅力です。先輩方には、困ったときに相談すれば助けていただけます。また同世代も多く、時には愚痴を言い合えるのも魅力ですね(笑)。



「ものづくりが好きで、中でもデザイン画という二次元からモノという三次元になっていく服作りの魅力にとりつかれました。」という山下さん。岡山県出身で地元の高校・短大で、服飾美術を専攻。学生時代に身につけた知識と技術を活かしたいとの思いから、地元のアパレル業界への就職を選んだそうです。

現在担当している業務は、学生服・介護服・ナース服のパターンと縫製仕様書の作成です。「別注物件は、何種類ものサンプルを作製してプレゼンすることもあります。お客様の要望に応えながら、企画から縫製までコスト面を含めて考えていかなければいけません。新商品開発の際は、特にその折り合いをつけることが難しくもありますが、やりがいでもあります。」そして携わったサンプルが製品になった時は、とても嬉しいそうです。

「ユニフォームはどうしても提案上制限が出てきますが、固定観念にとらわれ、その中での発想しかできないといい結果につながりません。ものづくりや服作りが好きで、いろいろな発想ができる想像力豊かな方たちと、これからも化学反応を起こしていきたいですね。」

